

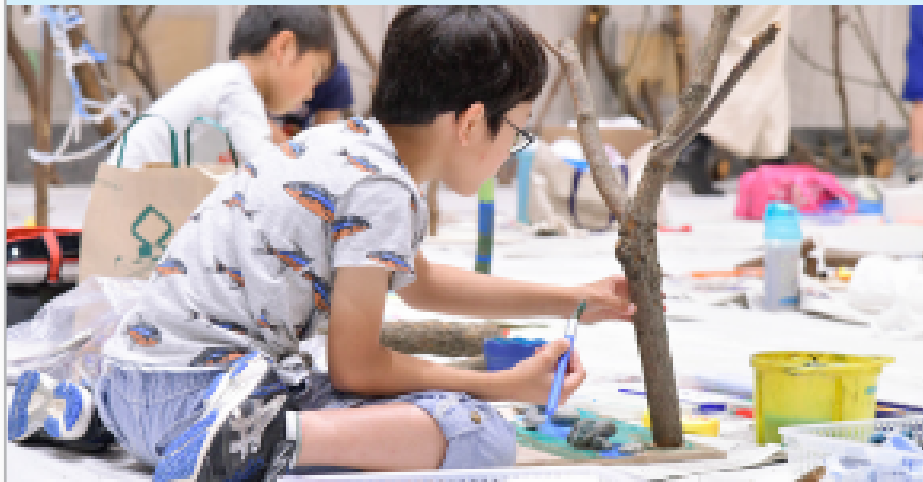
多摩美術大学 生涯学習センターでは、一般の方に向け、生涯学習プログラム(公開講座)を開講しています。子どもから大人まで、誰にでも美術・芸術の扉は開かれています。美術・芸術を通して新たな発見や刺激に出会い、そこに生まれるあなただけの時間を愉しんでみませんか。



講義講座

知の旅を堪能する

芸術家の人生や彼らが生み出した作品から世界を眺めてみましょう。作品の成り立ちや時代に与えた影響を知り、芸術家の生きざまを辿ることで、新たな知の発見に遭遇するかもしれません。多彩な講師陣による作品紹介とその芸術理論を道しるべに、日本と世界の時空間を横断する「知の旅」を満喫してください。



子ども講座

つくる、見る、考えるという「あそび」を通して、世界のひろがりを感じる

子ども講座では、うまくつくることや完成させることを目的とはしていません。つくりながら、見て、ふれて、感じて、考えること——そんな時間を大切にしています。小さな発見のなかに自分だけの言葉や作品が生まれていくよこごび。失敗や思い通りにいかないことも楽しめる時間。お友だちの作品とも会話するワクワク。そのどれもが貴重な経験です。さあ、一緒に美術の世界を、一生懸命、あそんでみよう!

多摩美術大学で、美術・芸術の愉しみにふれる

会場受講 | 八王子

講座番号 1212 A-C **あそびじゅつ 各回募集**
つくりながら、見ること・考えることの楽しみを発見しよう。

場 所 八王子キャンパス
受講料 各回3,000円(材料費別途1,500円)
対 象 A・B:小学1~6年生、C:小学5年生~中学3年生
※4月以降の学年でお申し込みください。
定 員 A・B:25名、C:35名
締 切 A:3/28(木)、B:4/11(木)、C:5/9(木)必着

A **小学生** 4/27(土) 10:00~15:00
挑戦! 裏も表もない、ゆれる絵に
いつもの絵とは違うんだ。
25枚の小さな木の板に描くんだ。
しかも両方の面に描くんだ。
最後に板をつなげていくと2つの面の作品ができあがり!
しかもその絵はカーテンのように、風とあそんで動くんだ。
海老塚耕一 美術家、本学名誉教授

B **小学生** 5/25(土) 10:00~15:00
ただ描くことだけの遊び
一タマビで見つけた素材で描いて、つくる、不思議なお面
筆の代わりに、いつもと違ったもので描いてみたらどんなだろう?
あんなものこんなもの 見つけに行つて、描いてあそんでみよう。
ぐにやり ガリガリ ザザッ!
あっ!おもしろ世界がひろがっていく。
そんな世界をお面にして身につけたら、どんなきみが現れる?
栗原一成 画家、本学絵画学科(油画)教授

C **小・中学生** 6/8(土) 10:00~15:00
かたちのおもしろさ、つくる楽しさ
りんごの不思議
りんごってどうやって大きくなったんだろう?
じっと見つめながら、想像するとおもしろい。
小さな傷は、鳥につかれたのかも。
ひとつひとつ 色がちがうのはなんでかな。
なかはどんなかたちしてたっけ?
そんなこと考えてついたら、見えてくるよ ほんとうのりんご。
三宅一樹 彫刻家、元本学非常勤講師



子ども
(小学生・中学生対象)

Illustration: Takashi Kume

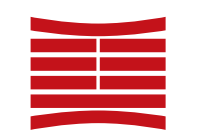
2024

多摩美術大学 生涯学習プログラム 講座案内

TAMA ART UNIVERSITY LIFELONG LEARNING PROGRAM

センターリニューアルに伴うプログラム縮小のお知らせ

多摩美術大学 生涯学習センターは、リニューアルのため、2024年春期から約2年間(予定)、プログラムを縮小して運営いたします。(※2024年度は演習講座、対談講座の開催予定はございません。)リニューアル後のプログラムにつきましては、詳細が決まり次第、ホームページ・チラシ等にてご案内いたします。



多摩美術大学
生涯学習センター

講座のお申し込みについて

ホームページのお申し込みWEBフォームまたはハガキにてお申し込みください。申し込み者多数の場合、**抽選の上、当選した方へのみ**、締切日から1週間以内に郵送にてご連絡します。

※2024年度より、当落の通知方法が変更となりました。落選した方へのご連絡はございません。

WEBからのお申し込み



こちらのQRコードから、お申し込みフォームが開けます。各講座の締切日までにお申し込みください。

公式HP <https://tamabi.ac.jp/life/>

多摩美術大学 生涯学習 検索

ハガキでのお申し込み

以下の必要事項を記入し、各講座の締切日必着でお申し込みください。

(1名ごとに1通。複数講座希望の場合は連記可)

- ①講座番号 ②講座名(1回ごとの受講が可能な講座は希望回も記入)
- ③氏名、フリガナ ④郵便番号、住所 ⑤電話番号(日中のご連絡先)
- ⑥メールアドレス ⑦性別 ⑧生年月日 ⑨受講生番号(お持ちの方のみ)
- ⑩小・中・高校生は学年 ⑪本学学生とその家族・卒業生はその旨

※電話、メール、FAXでの受付は行っておりません。

※締切日を過ぎても定員に余裕がある場合には受講できます。お問い合わせください。

※受講が決定しますと、詳細を記載した「受講のご案内」と振込用紙をお送りいたします。

※定員に満たない場合は、開講を取りやめることがあります。

※対象の記載がある講座以外は、高校入学年齢に達している方が対象です。

※上記⑩は保険加入に必要です。受講決定後の登録も可能です。

◎本学学生は無料で受講できます。在学生の家族、本学卒業生には受講料の割引(20%)があります。

お申し込み・お問い合わせ先

多摩美術大学 生涯学習センター (八王子キャンパス)

〒192-0394 東京都八王子市鎌水2-1723

TEL 042-679-5707 FAX 042-679-5709

MAIL life@tamabi.ac.jp

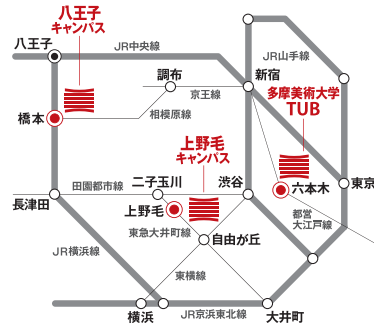
多摩美術大学 生涯学習センター公式HP <https://tamabi.ac.jp/life/>

こども講座「あそびじゅつ」専用HP <https://k.tamabi.ac.jp/life/asobi/>

開室時間：火～土曜日9時～17時

※日曜・月曜・祝休日および5/1～5/6、8/10～8/19、10/31～11/6、12/22～1/6は閉室(9月のみ土曜も閉室)

キャンパスのご案内



※公共交通機関をご利用ください。

八王子キャンパス

JR・京王橋本駅からバス8分、JR八王子駅からバス20分

上野毛キャンパス

東急大井町線上野毛駅から徒歩3分

多摩美術大学TUB

(東京ミッドタウン・デザインハブ内) 都営大江戸線・東京メトロ日比谷線 六本木駅直結、東京メトロ千代田線 乃木坂駅から徒歩8分

考える

芸術によって世界を眺め、
知の旅をする

講義

こちらのQRコードから、各講座のチラシ(PDF)にて詳細情報をご覧ください。



会場受講 | 八王子

世界の美術館 全5回/通年講座 ——写真とお話で、美術館を巡る

世界にはたくさんの美術館があり、それぞれ特色のある活動を展開しています。本講座では、そのなかから誰もが一度は訪れてみたいと思っている5つの施設を取り上げ、各館の魅力を、美術研究者やキュレーターが、写真などを用いながら具体的に紹介していきます。

この講座は、「全5回受講」または「1回ごとの受講」をお選びいただけます。

A 5/18(土) 13:30～15:00
カタルーニャ美術館—ロマネスク壁画の殿堂
金沢百枝 美術史家(西洋中世美術)、本学芸術学科教授

B 6/22(土) 13:30～15:00
日本民藝館—柳宗悦の美思想と珠玉のコレクション
杉山享司 日本民藝館常務理事(元学芸部長)、本学非常勤講師

C 10/5(土) 13:30～15:00
メニル・コレクション/ロスコ・チャペル
—降り注ぐ光/内なる光：展示から体験/瞑想へ
梅津元 キュレーター、批評家、本学非常勤講師

D 2025/1/18(土) 13:30～15:00
大英博物館
—大英帝国の栄華、世界最大規模を誇る
古今東西の美術コレクション
木下京子 美術史家(日本美術)、本学リベラルアーツセンター教授・生涯学習センター長

E 2025/3/22(土) 13:30～15:00
サン・マルコ美術館—静かな修道院に咲いた名作を愛でる
諸川春樹 美術史家(西洋美術)、本学名誉教授

場 所 八王子キャンパス
受講料 全5回受講 7,500円
1回ごとの受講 各回2,300円
定 員 全5回受講 140名
1回ごとの受講 各回30名
締 切 全5回受講 4/18(木)必着
1回ごとの受講 A:4/18(木)、B:5/30(木)、C:9/12(木)、D:12/12(木)、E:2/27(木)必着

会場受講 | 世田谷

オンデマンド受講

連続講座 〇〇世紀の芸術家列伝V ——20世紀《PART2》全20回/通年講座

共催 世田谷区教育委員会

ひとりの芸術家が歩んだ道は、時代がつくり上げた道でもあるでしょう。それは現代に通じる道でもあります。そこで、新たな眼差しで歴史上のひとりの芸術家をとらえながら、講座を通じて作家たちとその作品で時代を辿り、〈〇〇世紀〉を芸術の側から眺めていきましょう。シリーズVとなる〈20世紀《PART2》〉では、第二次世界大戦後からベルリンの壁崩壊までに焦点をあてます。

この講座は、【会場受講】と【オンデマンド受講(録画配信)】の2つの受講形式からお選びいただけます。◎会場受講の開講日時 ⊕オンデマンド受講の配信期間

※「全20回受講」の募集のみです。1回ごとの受講はできません。

講座番号 **1311** 会場受講
会場で、対面形式でご受講いただけます。

場 所 中町ふれあいホール
(世田谷区中町/上野毛駅から徒歩12分)
受講料 22,000円
定 員 170名
締 切 3/21(木)必着

講座番号 **1312** オンデマンド受講(録画配信)
録画された講座を、インターネット上でご覧いただけます。配信期間内であれば、いつでも何度でも視聴できます。

受講料 22,000円
定 員 200名
締 切 3/21(木)必着

※オンデマンド配信は、初日10時開始、最終日24時までです。

第1回 ◎4/13(土) 13:30～15:00 ⊕4/20(土)～4/27(土)
20世紀の美術・芸術への興味
—第二次世界大戦後からベルリンの壁崩壊にかけての
アートムーブメント
木下京子 美術史家(日本美術)、本学リベラルアーツセンター教授・生涯学習センター長

第2回 ◎4/13(土) 15:30～17:00 ⊕4/20(土)～4/27(土)
ロバート・フランク—イメージと言葉の彼方
港千尋 写真家、本学情報デザイン学科教授・アートとデザインの人類学研究所所長

第3回 ◎5/11(土) 13:30～15:00 ⊕5/18(土)～5/25(土)
藤田嗣治—コスモポリタンの夢と現実
山梨絵美子 美術史家(日本近現代美術)、千葉市美術館館長

第4回 ◎5/11(土) 15:30～17:00 ⊕5/18(土)～5/25(土)
アンディ・ウォーホル—芸術の破壊者にして、アートの創造者
山本浩貴 文化研究者、本学非常勤講師

第5回 ◎6/1(土) 13:30～15:00 ⊕6/8(土)～6/15(土)
瀧口修造—言葉とオブジェ
光田由里 美術評論家、本学大学院教授・アートアーカイブセンター所長

第6回 ◎6/1(土) 15:30～17:00 ⊕6/8(土)～6/15(土)
ジャクソン・ポロック—現代アートの開拓者
大島徹也 美術史家(西洋近現代美術)、本学芸術学科教授

第7回 ◎7/6(土) 13:30～15:00 ⊕7/13(土)～7/20(土)
ジョゼフ・コーネル
平出隆 詩人、作家、本学名誉教授

第8回 ◎7/6(土) 15:30～17:00 ⊕7/13(土)～7/20(土)
亀倉雄策—群像劇としての日本のデザイン形成
佐賀一郎 デザイン史家、本学グラフィックデザイン学科准教授

第9回 ◎10/19(土) 13:30～15:00 ⊕10/26(土)～11/2(土)
ジョン・ケージー—聴くことについての音楽とその先へ
畠中実 NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]主任学芸員、本学非常勤講師

第10回 ◎10/19(土) 15:30～17:00 ⊕10/26(土)～11/2(土)
寺山修司—現実と虚構の狭間
萩原朝美 映像作家、演出家、前橋文学館館長、本学名誉教授

第11回 ◎11/9(土) 13:30～15:00 ⊕11/16(土)～11/23(土)
手塚治虫—「マンガの神様」と「アニメの神様」と
小出正志 アニメーション研究者、東京造形大学名誉教授

第12回 ◎11/9(土) 15:30～17:00 ⊕11/16(土)～11/23(土)
丹下健三—世界への発信
青木香代子 建築史・都市史研究者、本学環境デザイン学科准教授

第13回 ◎12/14(土) 13:30～15:00 ⊕12/21(土)～12/28(土)
ジャン＝ミシェル・バスキア
—なぜ落書きがアートになったのか?
小川教生 美術ジャーナリスト、本学芸術学科教授

第14回 ◎12/14(土) 15:30～17:00 ⊕12/21(土)～12/28(土)
棟方志功—世界でも愛され続ける日本のアーティスト
木下京子 美術史家(日本美術)、本学リベラルアーツセンター教授・生涯学習センター長

第15回 ◎2025/1/25(土) 13:30～15:00 ⊕2025/2/1(土)～2/8(土)
ヨーゼフ・ボイス—社会彫刻の実践
中尾拓哉 美術評論家、本学非常勤講師

第16回 ◎2025/1/25(土) 15:30～17:00 ⊕2025/2/1(土)～2/8(土)
チャールズ・イームズ
—ミッドセンチュリーデザインの象徴的存在
米谷ひろし デザイナー、本学環境デザイン学科教授

第17回 ◎2025/2/22(土) 13:30～15:00 ⊕2025/3/1(土)～3/8(土)
岡本太郎—芸術を爆発させた表現者
石田尚志 画家、映像作家、本学絵画学科(油画)教授

第18回 ◎2025/2/22(土) 15:30～17:00 ⊕2025/3/1(土)～3/8(土)
関根伸夫—1968年から考える日本美術の一断面
海老塚耕一 美術家、本学名誉教授

第19回 ◎2025/3/8(土) 13:30～15:00 ⊕2025/3/15(土)～3/22(土)
ナムジュン・パイク—音楽からパフォーマンスへ
久保田晃弘 アーティスト、研究者、本学情報デザイン学科教授

第20回 ◎2025/3/8(土) 15:30～17:00 ⊕2025/3/15(土)～3/22(土)
土方巽—舞姫の身体
安藤礼二 文芸評論家、本学芸術学科教授・図書館情報センター長